# 教会おじやまします

# 八幡教会を訪問しました

5月12日(木)「教会おじゃましますプロジェクト」の第5回は八幡教会におじゃましました。12教会から46名の参加があり、教会の前庭は車でいっぱいになりました。

礼拝では久保田理牧師が「共に礼拝を献げる」という題で宣教をしてくださいました。 連合の諸教会に連なる私たちは、神様によっ て結び付けられた隣人です。主が中心におら れて、キリストをかしらとして一つの出来事 を生み出していきます。連合諸教会から共に



一つの教会に集うことの意味を教えていただいた宣教でした。



後半の教会インタビューでは久保田牧師から 10名の八幡教会の方々が紹介されました。八幡教会の建物は1955年にヴォーリズ設計事務所の設計によって建てられ、木材をふんだんに使っています。今は礼拝堂の床が平らになっていますが、当初は劇場のように傾斜がついていたのだそうです。礼拝出席は30名前後。元牧師の大沼上先生ご夫妻も毎週来られていると伺いました。アクセス

のよさから西南女学院の中高生がまとまって礼拝出席しているそうです。 八幡教会の皆様方、本当にありがとうございました!

### 編集後記

先日、光教会の荒瀬謙二牧師をお訪ねしたときに、元通りに修理した看板を見せていただきました。昨年夏の台風で壊れてしまい、ようやく本来の場所に戻りました。光教会では重い病にかかられた方からバプテスマを受けたいというお申し出があり、教会員の賛同を得て、近い機会にバプテスマ式を行う予定になっていると伺いました。小さな教会が主によって豊かに用いられていることに感謝しつつ、これからも祈りを合わせていきたいと思います。



### 次回予告

巻頭言:連合事務局 牧野信栄姉(東八幡教会)

おじゃまします報告: 富野教会

### 6月・7月の予定

6月11日(土)連合壮年会・神学校を覚える集会 (東八幡)10時

13日(月)連合女性会総会・一日研修会

(北九州) 10時20分

宣教支援センター常任委員会

(東八幡) 16 時 30 分

23日(木)教会おじゃまします

~富野教会19時

25 日(土)安保法制を廃案にするための市民集会 池田香代子さん講演会(シオン山) 13 時 7月21日(木)教会おじゃまします

~大分教会 14 時

25 日(月)~26 日(火)連合夏期学校

(源じいの森)

連盟全国支援・地域協働プロジェクト
バプテスト北九州地方連合
宣教支援センターニュース 12号

**発行責任者:山田雄次** 発行所:〒805-0015

北九州市八幡東区荒生田 2-1-40 Tel&Fax: (093)651-6669

東八幡キリスト教会内

連合宣教支援センター事務局発行日:2016年6月8日



いよいよ教会元気プランが動き始めます part2 枝光教会

下関教会 泉 選也牧師が着任しました 防府・平和コンサートが開催されました 教会おじゃまします 八幡教会

写真: 熊本地震支援物資の積み込み

(5/10 東八幡教会)



### 私たちが宣教支援センターなのです!

高須教会牧師・北九州地方連合書記 三上渡(高須)

5月22日(日)晴天に恵まれた山田緑地で、私たちは今年で10回を数える富野教会との野外合同礼拝(下記写真)を守りました。この合同礼拝は当時企画された連合の一歩プログラムに端を発しています。バプテスト北九州地方連合を形成する教会として互いに祈りにおぼえ、協力伝道に励み、交流を深めるということがその目的と意義

です。何とか 10 年続いていますが、これは紛れもなく宣教支援センターの働きそのものを表しています。 一人ひとりが宣教支援センターの働きを殊更意識しなくても、普段の歩みの中において、私たちはそのことを行っているのです。

「私たちが連盟なのです」と言う時、連盟は彼方にあるものではなく、私たちが、更にはこの私が、連盟を構成する主体なのだということを意味します。宣教支援センターも同様のことが言えるのです。勿論、宣教支援センターの働きを更に促進するためのプログラムが用意されていますが、同時にこの私が宣教支援センターを担っている、という自明の事柄を私たちは普段の歩みの中で行っているのです。隣町の教会のAさん、Bさんをおぼえて祈る。これも宣教支援センターの働きです。小さな歩みの積み重ねが宣教支援センターを支えることになるのです。

高須教会は昨年6月7日(日)に、山田雄次協力牧師を宣教支援センターサポート牧師として派遣するに当たって、臨時総会を持ちました。私たちは満場一致で山田先生を連合に派遣することを承認し、次いで6月28日(日)に派遣礼拝を守りました。協力牧師を宣教支援センターに派遣するということは、教会にとっては嬉しいことであると同時に大きな痛みを伴うことでもあります。しかし、私たちは感謝を持

って先生の働きが宣教支援センター のために用いられますようにと祈り を合わせました。また山田先生を派 遣することは、私たち自身にも派遣 に伴う責任と義務が生じるというこ とでもあります。高須教会の一人ひ とりがそのことを真摯に受け止める とき、私たちもまた宣教支援センタ ーになるのです。





## いよいよ教会元気プランが 動き始めます

# 第一期 教会元気プラン推進教会 枝光キリスト教会

前号と今号の二回にわけて、2016 年度に教 会元気プランの立案・実行に取り組む二つの教 会の経過報告をさせていただきます。

今回は枝光教会の「教会元気プランへの道」を ご紹介します。

枝光教会は今年で教会組織50年を迎えます。 枝光は八幡製鉄所に勤める職工さん達が多く住

んでいた地区です。1959年に始められた東八幡教会の家庭集会が、枝光教会のルーツです。1964年にかつて遊郭であった土地・建物を取得して、2年後に教会組織を果たしました。岩崎一宏牧師は1994年に着任されて22年目。礼拝出席は17名前後。教会員の4割が60歳以上の方々です。

イエス・キリストをかしらとする教会として、何が求められているのかを、パウロの言葉から 学んでいきたい。岩崎牧師は 2015 年 4 月の主日礼拝からコリントの講解説教を始めました。 2015 年 7 月 15 日に主事として教会訪問をさせていただいた時に、枝光教会を何とかしたいと いう強いお気持ちを、岩崎牧師からお伺いしたことをよく覚えています。

2015年9月13日には久しぶりに教会研修会が開かれました。これまでの教会の歩み、教勢分析の資料などをもとに話し合った結果、教会に集う一人一人が枝光教会の「伝道」についてどのように考えているのか、もっと語り合いたいという結論に至ったそうです。

その後、第一主日と第三主日の午後、信徒常会の時間を使って、思いを語り合う取り組みが続けられました。主なテーマは「わたしの伝道」「枝光教会の良いところ・好きなところ」「チャレンジしてみたいこと」など。

当時の記録を読み返してみて、枝光教会らしさがよく表れていると思う、教会員のコメントに出会いました。「牧師が宣教と格闘している。貧しい教会、困窮している教会、それなのに明るさがある。その力の源はどこにあるのか?——それは福音に根差している証拠」。

2016年2月21日の午後、これまでの話し合いの成果をもとに、枝光教会の信仰をことば化する作業が行われました。初参加の高橋さんが語った「枝光教会のイメージとして『坂の途中の教会』がある」ということばが共感を呼んで、2016年度の宣教主題に「坂の途中の教会——イエス・キリストによって立ち、歩く」が選ばれました。人生上り坂の人がいれば、下り坂の人も

いる。坂の途中の教会でひと息ついて、イエス様から力をいただき、また立ち上がって歩き始めてほしい。ここにも教会に来た人を分け隔てしない、枝光教会らしさがよく現れていると思いました。

神様はどんな物語を見せてくださるでしょうか。防府教会と枝光教会に寄り添いながら、 祈りつつ、かかわっていきたいと思います。





# 下関教会 泉選也牧師が 着任しました

4月1日より下関教会に泉選也(いずみえりや) 牧師が着任されました。

4月29日(金)の連合年次総会の後に、牧師就任のご挨拶がありました。野方教会(福岡連合)の泉清隆牧師の甥にあたり、西南学院大学神学部に1年次入学されて、地道に学んで来られた先生です。下関教会では4月3日の主日礼拝の中で任職式を行い、平常の伝道・牧会活動が始まっています。牧師の詳しいご紹介は、後日お送りする連合ニュースをご覧ください。なお、牧師就任式は10月23日(日)15時の予定です。

# 防府で平和コンサートが開催されました

4月29日のバプテスト大会でもアピールがありました、「谷本仰・平和コンサート」が5月14日(土)に防府市公会堂で行われました。防府市内4教会と市民団体で組織した実行委員会の主催で、58名の来場者がありました。

準備にあたっては宣教支援センターの仲介で、防府教会の方々がwordで作成したチラシを、本山大輔牧師がアレンジしてくださるという教会間協働が生まれました。防府教会の表通りにお住まいの皆様方には教会員がチラシを持ってご挨拶に伺ったとのこと。当日思いがけ



ないことに、ご近所の方が連れ立って足を運んでくださって、國分美知子牧師や教会員の方々が 励ましを受けていました。



当日は谷本牧師のご友人の黒田征太郎さんが友情出演してくださり、バイオリン演奏を聴きながら、たくさんの絵を描いてくださいました。描いた絵は熊本地震の支援に用いたいとのことでした。

